

つないだものは

校長 矢野 尊久

先日、2月4日日曜日に味の素スタジアム・都立武蔵野森公園特設コースにおいて第9回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。明保中学校からも該当学年である2年生の中から選抜された男女それぞれ2名の生徒たちが参加しました。区市町村対抗競走となっているため、区市町村によっては上位を狙うために合宿まで行う地区もあるといえます。西東京市でも昨年からの市内9校での選抜を経て、市内選考会、合同練習2回、試走会、そして本番へと臨んできました。

当日は残雪の心配もありましたが、都庁の職員が朝早くからコースや応援スペースの雪かきなどをやってくれたおかげもあり、予定通り実施することができました。午前10時にスタートした女子の部は10位近くを常にキープして、昨年のタイムを1分40秒以上も短縮する過去最高の成績で「特別賞」をいただき、午後1時にスタートした男子の部は、第1区の選手が1位でスタジアムにもどってくるなど大いに健闘した大会でした。本校の選手も自分の区間でベストの走りをして、しっかりと役割を果たしました。

私は当日コースを回り、応援したり写真を撮ったりしていましたが、なによりも感動したのは、応援している多くの人たちが自分の区市町村だけでなく懸命に走っている全てのランナーを応援してくれていたことです。「西東京頑張れ！」という熱い応援は言うに及ばず、中にはどの選手に対しても「前のランナーと何秒差だよ。追いつけるよ！」とか「すぐ後ろに来ているからペースに気を付けて！」など選手目線で声かけをしている人たちがいました。選手の熱い走りも印象的でしたが、応援する人たちと一体となった温かい雰囲気がレース全体に漂っていたのです。これも駅伝の魅力であり、10年以上続けてきたこの大会の成果なのだと感じました。

たすきをつなぐために自分のベストを尽くすそれぞれのランナーの真剣で直向きな走りから感じられたのは、つないでいるのは、たすきだけでなく、心と気持ちだということでした。2キロから3キロという長距離に選手たちは自分と戦いながら、心と気持ちを最後のアンカーまで絶やすことなくつなぐ、この一体感こそが駅伝の魅力だと改めて思いました。

終わってみて西東京のランナーだけでなく、参加した50の区市町村の全ての選手に大きな拍手を送りたいと思う素晴らしい大会でした。



女子の部第3区・5区、男子の部第7区・8区の本県の選手たちの様子です

※東京駅伝の様子については明保中学校ホームページに区間毎に詳しく紹介しています。是非ご覧ください。

◇2月・3月の主な予定◇

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
2月	16	金	避難訓練	2月	28	水	学年末考査 英・保体・技家(1,2年) 給食
	17	土	土曜学習教室1(希望者)		3月	1	木
	19	月	生徒会朝礼 放課後学習教室開始	6		火	都立高校二次出願 3年生 PTA合同
	21	水	一斉委員会 学期末考査一週間前	7		水	避難訓練
	23	金	都立高校一次学力検査 3年生	8		木	合唱コンクール こもれびホール
	24	土	土曜学習教室2(希望者)	9		金	都立高校二次学力検査 3年生
	26	月	学年末考査 社・国・音 給食	12		月	安全指導(東日本大震災について)
	27	火	学年末考査 理・数・美 給食	13	火	3年生球技大会	

◇1年生スキー移動教室◇ 平成30年1月25日～27日

※詳しい様子はホームページを！

中学校に入ってから初めての宿泊行事であるスキー移動教室が実施されました。東京はその前の週から雪が降っていたので雪自体は珍しく感じなかった生徒たちですが、スキー場のある菅平高原に到着するとその雪の多さや寒さにびっくりしながらの実習スタートとなりました。実習で印象的だったのは今回のインストラクターの方の丁寧な指導ぶりです。初心者も多かった今回のスキー実習は宿舎を出て直ぐの小さな斜面を使って基礎を根気よく指導してくれました。その成果もあって学年で目標にしていた「2日目の夜のナイトスキーをみんなで滑る！」ということが達成できました。3日間とも本当に寒いスキー実習でしたが、慣れないスキー用具を身に付けての実習を生徒たちもよく頑張ったと思います。2日目の午後には滑っている生徒たちから「めちゃ楽しいよ!」「おもしろい!」という声が挙がっていたことに生徒たちの充実した様子が伝わってきました。

今まさに韓国ピョンチャンにおいて冬季オリンピック競技が開催されていますが、このスキー移動教室を通して生徒たちがウインタースポーツに関心をもち、今後もスポーツに慣れ親しんでくれたらと願っています。



◇合唱コンクール練習始まる◇

昨年通りこもれびホールで3月8日（木）に実施される本校の合唱コンクールに向けての本格的なクラスでの取組が始まりました。もちろん音楽の時間にはそれ以前から練習を積み重ねてきたのですが、ここからの朝練習や歌い込みによって合唱コンクールにおける生徒の意識が大きく変わってくる期間に入ります。クラス毎に工夫した取組として歌詞を模造紙に書いて、ポイントを示したり、お互いに意見を出し合って話し合いをしたりしています。生徒たちの自主性や協力体制が問われる行事となります。合唱コンクールを知らない1年生は、なかなか声が出ないで苦労するのもこの時期です。また2、3年生は昨年までの経験を生かして金賞を目指すためにクラスが団結する貴重な機会ともなります。音楽の力などを高めるだけでなく人間関係や自分の役割を意識し、集団としての質の向上を目指すためには欠かせない行事です。明保中学校では3月という年度末の実施となりますので、1年間かけて築き上げたクラスの和や輪が最後に輝く様子をぜひステージの生徒たちに注目して参観してください。

なお、各学年、学級の課題曲と自由曲は次の通りです。

- 1年生課題曲 カリブ夢の旅
1 A……怪獣のバラード 1 B……COSMOS 1 C……心の瞳
- 2年生課題曲 時の旅人
2 A……地球の鼓動 2 B……ヒカリ 2 C……手紙 2 D……予感
- 3年生課題曲 春に
3 A……言葉にすれば 3 B……証 3 C……虹

なお、発表の順番は、1年生はBCA、2年生はCBDA、3年生はBCAの順となっています。

